

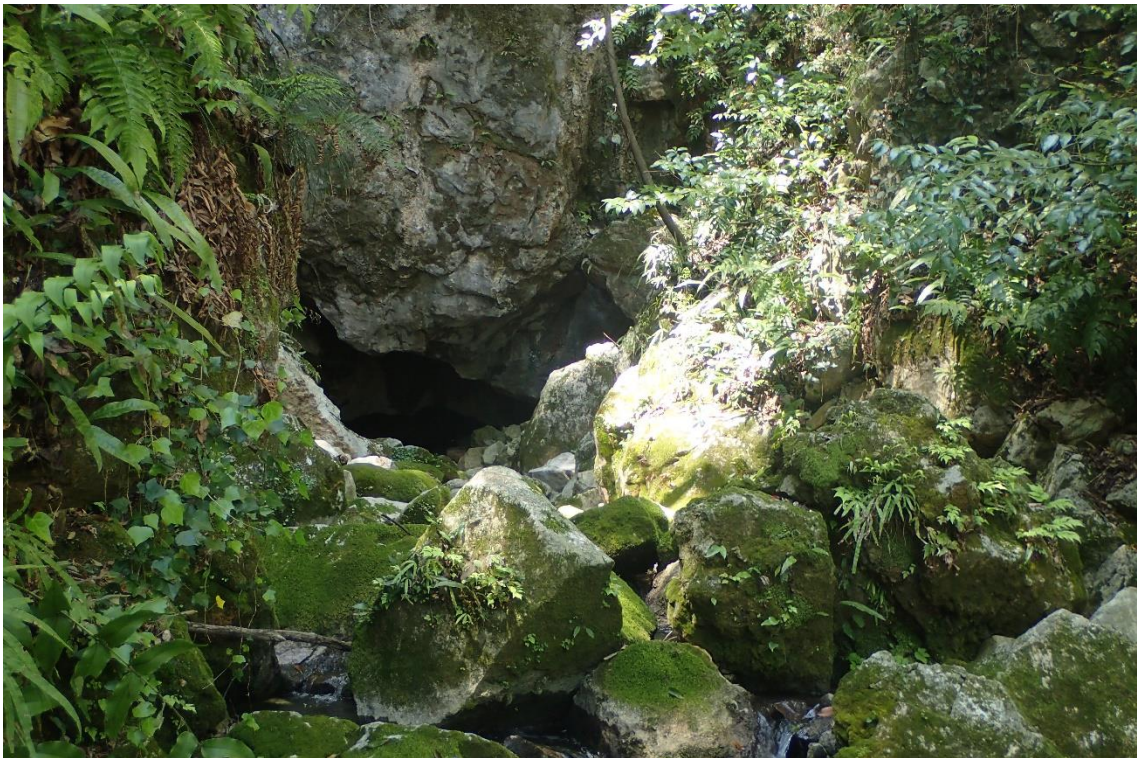
千貫岩駐車場～大かんの台～風神山～不動洞～千仏ロック～

千仏鍾乳洞～堂金山～不動山～風神山～三笠台～千貫岩駐車場

千貫岩駐車場からの 不動洞

2021年4月10日

今日の午前中は、小倉南区の剣立山に登った。H師匠とK高さんと三人で約3時間の楽しい山歩きだった。下山後、まだ時間が早かったので、思いきって平尾台に足を延ばした。2月に家内とほぼ同じコースを歩いたが、その際に不覚にも不動洞と千仏ロックを飛ばして歩いてしまった。その事が気になっていて、いつかはリベンジと思っていた。



不動洞 崖下の穴から水が流れ出る。ここから約1270mの鍾乳洞が形成されている。

<コース概要>

1、千貫岩駐車場 11時36分 ～ 2、ポールの立つピーク ～ 3、大かんの台 ～
4、風神の祠 ～ 5、風神山 ～ 6、不動坂下の分岐 ～ 7、千仏不動尊～ 8、不動洞 ～
9、千仏ロック ～ 10、千仏鍾乳洞 ～ 11、堂金山 ～ 12、不動山 ～
13、不動坂下の分岐 ～ 14、風神山 ～ 15、三笠台 ～ 16、千貫岩駐車場 16時28分



1、千貫岩駐車場 11時36分 スタート
長野緑地からの移動で約30分。千貫岩駐車場はいつものようにガラガラ。



すぐに出発！



東屋横の階段から 11時37分
三笠台には上らずに、標識を右に曲がって
農道を進む。春爛漫の陽気だ！



のんびり行こう



カラスノエンドウ



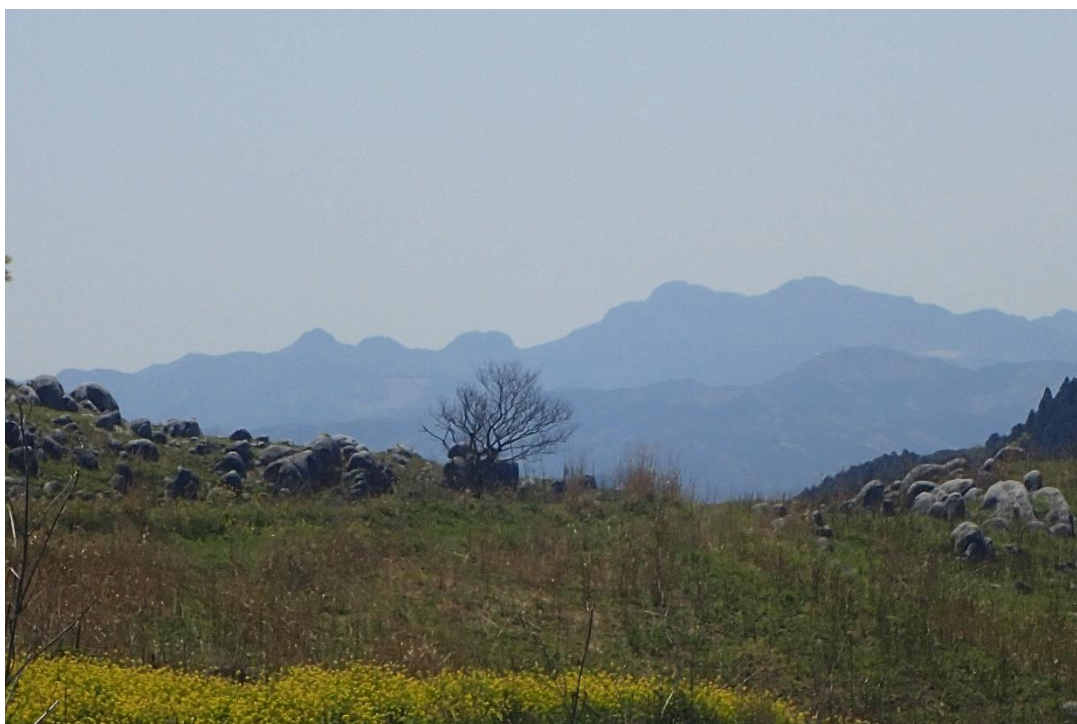
菜の花



農道沿いに菜の花がたくさん



右を見るとラクダ山から七つ森への稜線



遠くに英彦山の山並みもくっきり見えている 11時39分



農道を右折 11時41分

駐車場から3分程歩くと右に入る道がある。
ここからポールの立つピークを目指す！



のどかな空気

この農道をまっすぐ進んでも「大かんの台」に行くことが出来る。しかし、今回はこの農道から脇道に入り、先ずは「ポールの立つピーク」を踏み、その後「大かんの台」へ進むことにした。



この木の先にポールの立つピークがある



カキドオシ(薬草らしい)



斜面を左カーブしながら上る 11時45分 夏季は草が茂って道が消えるかな？
その際はボールの立つピーク(赤矢印)と檻(緑矢印)を目印にして上るといいかも。



アカカタバミ？



ホタルカズラ



左カーブの斜面を上りながら振り返る



途中で薄い踏み跡を辿りピークへ 11時49分



ピークの岩を目指し直進！遠くにポールが！



2、ポールの立つピーク 11時52分

ここは地の果ての、果てと言える場所。



正面左の塔ヶ峰～七つ森の稜線を眺めながら👁️おにぎりタイム。 岩に座ってのんびり



ここから地の果てコースのスタート！



先ずは大かんの台を目指す！ 12時00分



3、大かんの台 12時01分 あっという間



山頂碑の横をすり抜けて風神山へ！

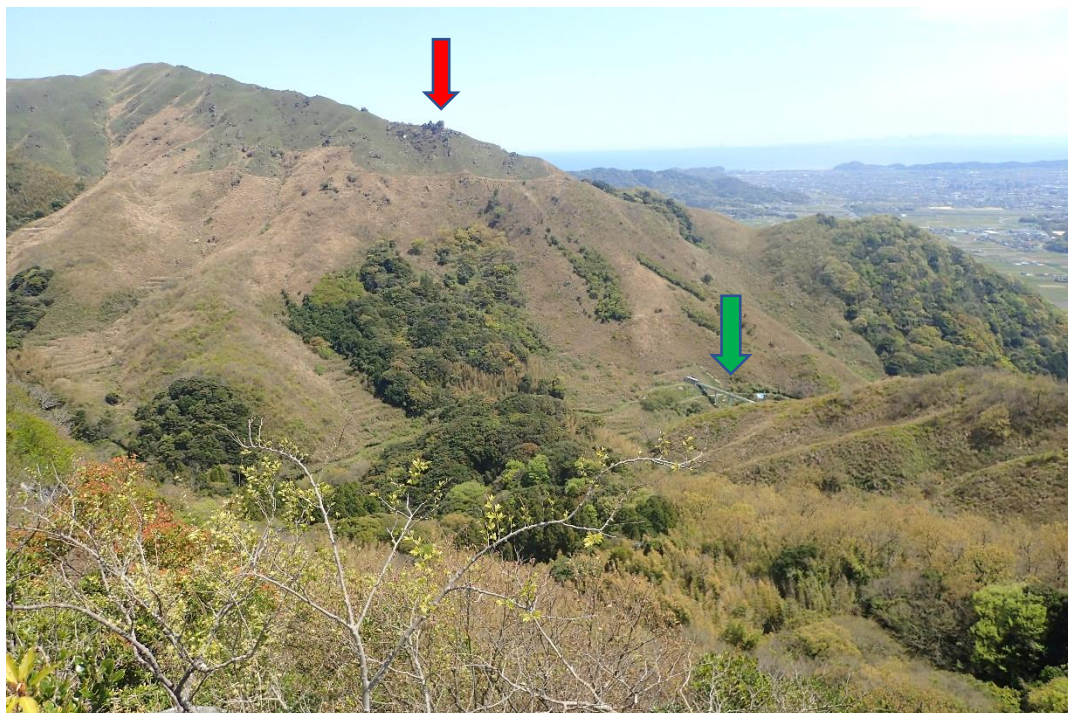


ヤブレガサ



平苺ベルトコンベアをズームアップ

平尾台で採掘した石灰岩を、「平苺ベルトコンベア」で苺田町まで運んでいる、全長12km。



天狗岩(赤矢印)と平苺ベルトコンベア(緑矢印) 12時07分



4、風神の祠 12時10分

この台地に吹き荒れる風を鎮めるために、
風神の祠が祀られた。ということらしい。



明治32年建立



台地には至る所にホタルカズラ



風神山山頂広場(山頂とは思えない)



5、風神山 418m 補修されていた



山頂碑のバックには天狗岩



この坂を下ると不動坂下の分岐 12時16分



あの分岐から右に下る 12時19分



6、不動坂下の分岐 12時19分
ここから下って不動洞を目指す！



いざ！



正面に天狗岩が見える 12時23分



登山道をジグザグに下る 12時28分

ロープ場を下るにつれて、水の流れる音が聞こえてくるようになった。この水音は不動洞から流れ出る水に違いない。不動洞の場所がうまく見つかるといいが・・・と心配しながら下る。



ロープ場を通過すると 12時30分



石段に突き当たる 12時31分 左へ上る

石段に飛び出して、「さてどうしよう？」今回は不動洞と千仏ロックが第一目標だが・・・
まずは以前訪れた千仏不動尊にお参りし、その後目標を探すことにした。



右に下る道 12時32分

千仏不動尊に続く石段(オレンジ矢印)を登って行くと、水音が更に大きくなって来る。と言うことは不動洞にも近づいていることになる。「ここから近いな」と思った時、右に下る道(青矢印)があった。すぐにでも右へ下りたいと言う気持ちを抑え、最初に参拝することを決めていた千仏不動尊に向かった。



7、千仏不動尊 12時33分



不動明王に参拝

断崖絶壁の下に大きな洞窟がある。その中に不動明王像が祀られている。
祭壇は綺麗に飾り付けられていた。



千仏不動尊の上を見上げる



千仏不動尊の前にある数体の石像



参拝も終わり石段を下る 12時36分



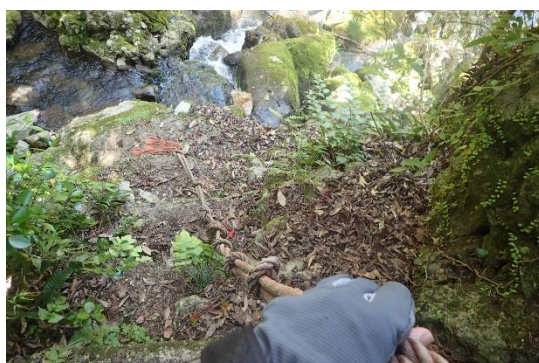
先程見つけた道に進む 12時37分



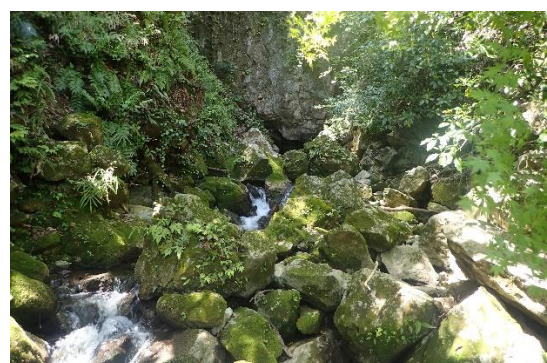
大きな木の根とロープが目印 12時37分



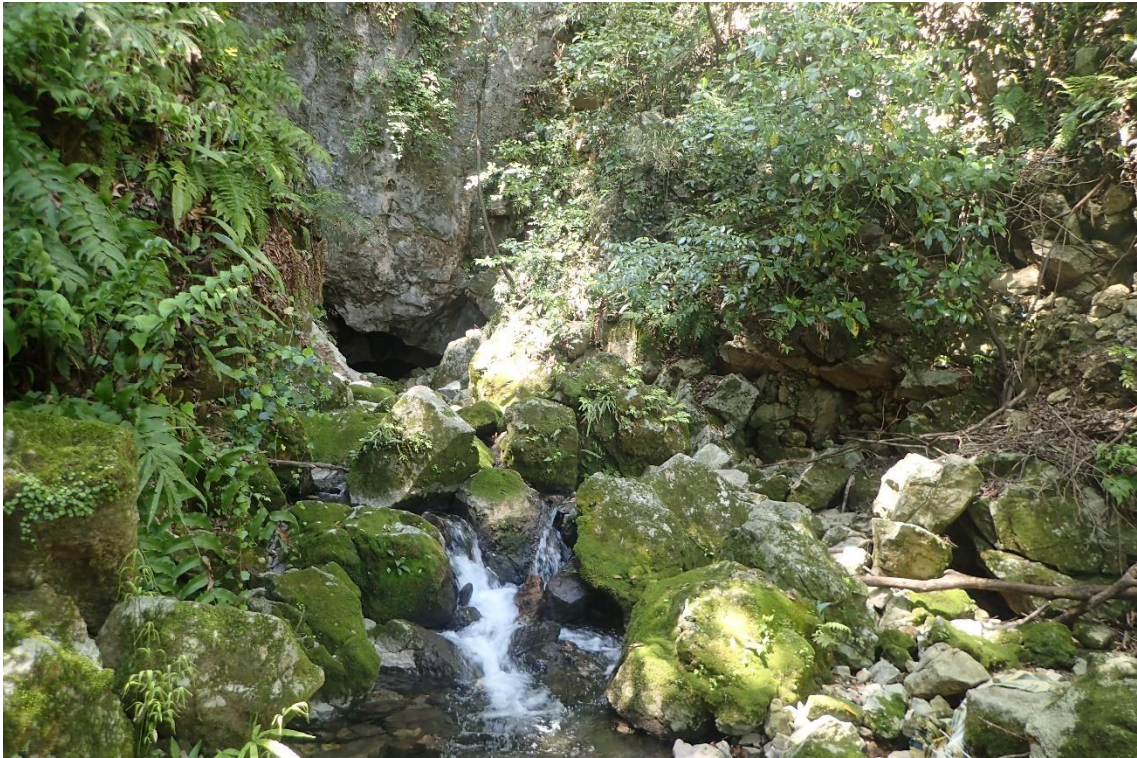
沢への最後の下りは慎重に 12時38分



太いロープを握りしめて 12時38分

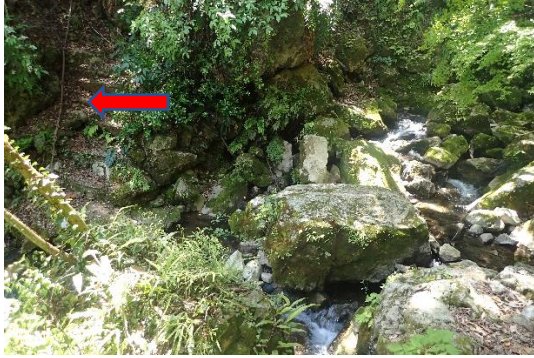


沢の上流を見ると穴のような 12時39分



8、不動洞 12時40分 苔生す岩を慎重に渡渉し水の流れ出る不動洞へ

	ここ不動洞は平尾台に降った雨が集まり、大量の水となって流れ出る。 当然、雨の降った後は水量が増えるので、不動洞に近づく際の渡渉、遡行は気を付けなければならない。 不動洞の総延長は1270m。 コウモリも生息しているとのこと。 ケイバーはこの穴から水に浸かりながら入洞するらしく、一般の登山者としては、入り口まででUターンとなる。 入洞には許可が必要で、勝手に入ってはいけない。と言うか、この鍾乳洞は観光洞ではないので、危険が伴う。怖くてこの中に入っていく勇気は全くない。 ※ケイビングに関してご興味のある方は、平尾台自然観察センターにお問い合わせ頂くと、有料ですがケイビング体験を行っています。
--	--



千仏ロックへ 12時44分

さて、不動洞の見学も満足して、次は千仏ロックを探すことにした。先ほどこの沢に下ってきたロープの場所(赤矢印)の対岸から、千仏ロックへのルートが続いているはずだ。渡渉の際には苔むした岩には注意！千仏ロックは当然ながら断崖なので、渡渉後、崖側の斜面方向を探すことに・・・。



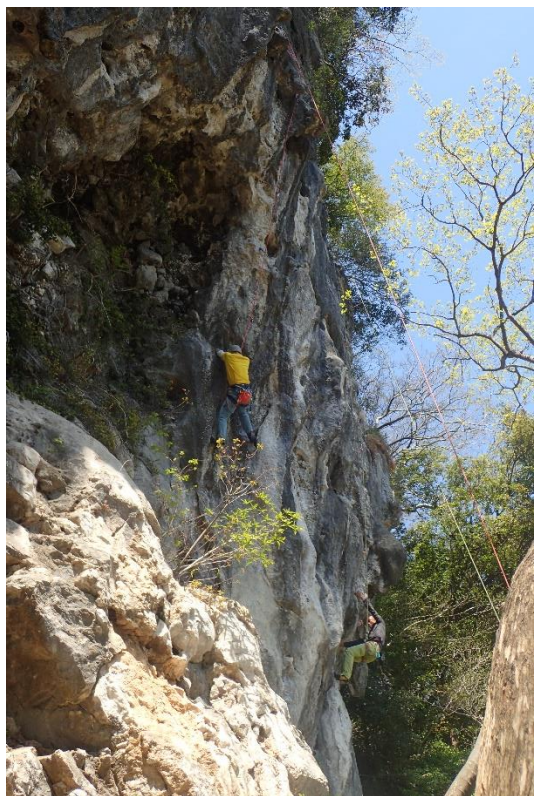
ルートがちょっとわかり難い

沢からすぐ(5m位)の茂みの中に、左斜めに上る薄い踏み跡とロープを見つけた。



急斜面にロープ

と、その時、上から人の声が聞こえてきた。誰かいるぞ！ロッククライミングをやっている様子で、ワクワクしてきた。



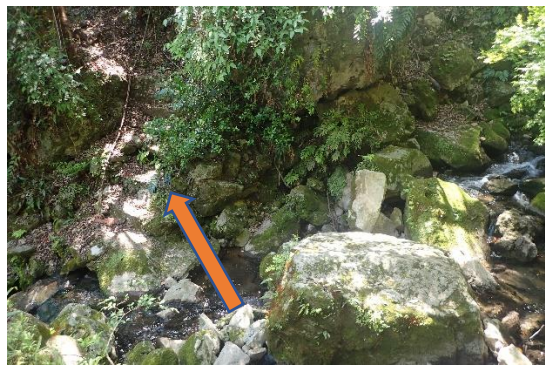
9、千仏ロック 12時50分

急斜面を上り詰め見上げると、断崖絶壁を上る命知らずのロッククライマーが二人、正に今、地の果ての断崖を登攀しているところだった。見ていると怖くなってくる。

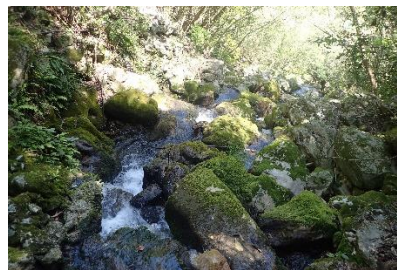


崖の下では、登攀する人をフォローするバディが命綱を握っている。間近でこのような光景を見るのは初めてだったので、見ているだけで緊張・興奮してしまった。

10分程の見学を終えて往路に戻ることに・・・ 13時01分



再度沢を渡渉 13時04分
苔生す岩に注意して渡渉する。



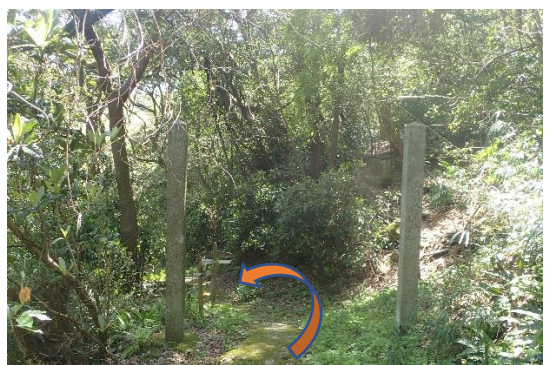
下流側



ロープを握り斜面を上る 13時05分



石段道に出て左へ下る 13時06分



千仏不動の石柱 13時09分
不動洞から下ると千仏不動尊参道の石柱と標識がある。



小休憩



千仏橋 13時13分
千仏川に架かる千仏橋を渡る。





石柱の間を通り、左の道へ回り込む

千仏不動尊の参道入り口 13時14分



右の道は九州自然歩道



ウマノアシガタ



オオイヌノフグリ



千仏鍾乳洞へ 13時15分

石柱の間を通り抜け、隣の道に回り込むと、道標がある。ここから九州自然歩道に入ることになる。ここから千仏鍾乳洞までは500m。逆方向に進むと、行橋大行寺まで1.8kmとなっている。この道は昔は小倉と行橋を結ぶ大切な道だったようだ。行橋へのルートも一度歩いてみたいが・・・。



分岐からすぐの所にお地藏さん



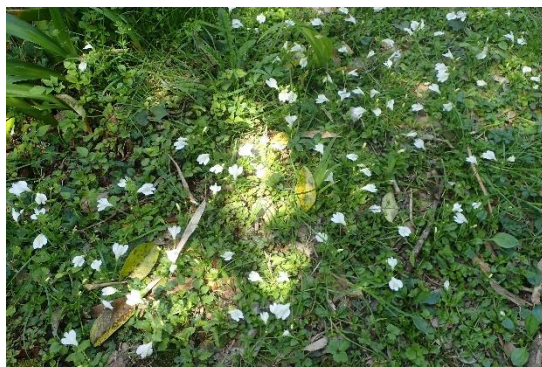
ここも綺麗に掃除が行き届いている



快適な登山道



シャガ



サギゴケの群生



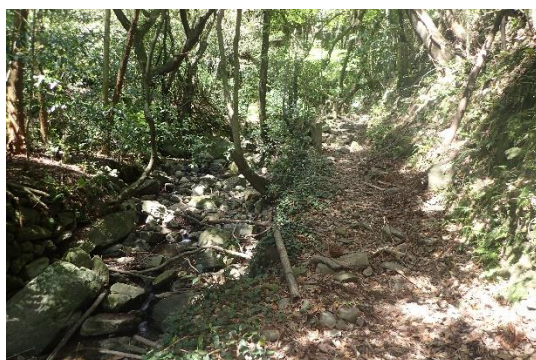
サギゴケ



左上の崖を見上げる。千仏ロックか？



バイク進入禁止！の杭 13時22分



千仏川に沿って歩く 13時23分



茶ヶ床園地まで2.0kmの道標



朽ちかけた木の橋 13時24分



橋に穴が空いている…そろそろヤバイ？



突然建物が現れた 13時28分

1階は千仏鍾乳洞の有料トイレ。



10円



10、千仏鍾乳洞 13時32分

外階段を上れば千仏鍾乳洞の券売所。



千仏茶屋



せんぶつ茶屋前で見つけた梅ジュース



クエン酸で疲れが吹っ飛ば 13時40分

休憩後、階段上りとなる



せんぶつ茶屋スタート 13時44分



駐車場に到着「ふっ〜」 13時50分



千仏鍾乳洞入り口 13時55分



入り口を通過後に振り返る



次は堂金山へ 13時55分

堂金山へは、この場所のすぐ左から行くことが出来るが、少し車道を歩いて、この先の大きな木の前の分岐から目指すことにした。



左のルートはパス



右を見ると貝殻山がクッキリ



右の白い看板から進むと茶ヶ床園地へ



蛇行する車道を歩いて行くと 14時00分



道路の右側に一本の大きな木 14時01分



車道から堂金山へ 14時02分

大きな木の真正面に堂金山への道がある。道の先を見ると堂金山のピークが見えている。ここから地の果ての断崖が続く4山(堂金山～不動山～風神山～大かんの台)が連なることになる。この台地は少し急登もあるが概ねなだらかで、気分転換のお散歩コースには最適な場所だと思う。



タカサゴソウ



石灰岩の周囲にヤブレガサ



11、堂金山 14時12分 404m
電柱の下に山頂碑。壊れかけている。



堂金山からかがり火盆地を見下ろす 14時14分 2月の野焼きから2ヶ月、台地はグリーンに



次、不動山へ行ってみよう！ 14時15分



濃いムラサキのスミレ

不動山の崖の下に不動洞や千仏ロックがある。



12、不動山 14時30分 404m

不動山は堂金山と同じ標高。のんびり花散策しながら歩いて16分だった。



ここで休憩



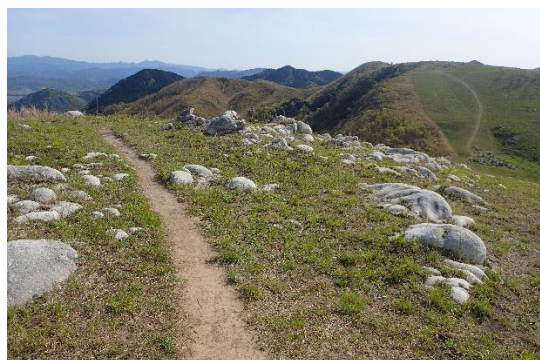
中央の斜面に段々畑の跡が残っている



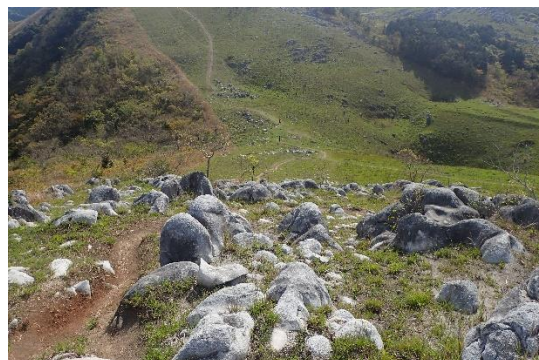
天狗岩を眺めながらおにぎりタイム



不動山から遠くの吹上峠方面を眺める 14時32分



次、風神山に行ってみよう！ 15時18分



不動坂を下る 15時19分



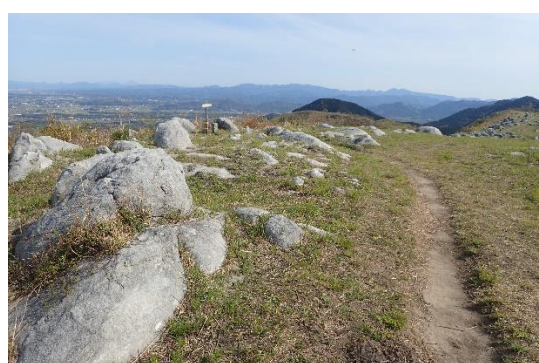
13、不動坂下の分岐 15時27分
往路はここから不動洞方面(青矢印)に下って行った。3時間08分で一周してきた。



満足感



先行の登山者に続いて上ると 15時29分



風神山の山頂碑が見えてきた 15時34分



14、風神山 15時35分 418m
今日は一日中お天気が良く、空気も澄んでいる。絶好の登山日和だった。



風神の祠を通過



キジムシロ



大かんの台の手前で農道へ 15時50分



右へ曲がり、駐車場へは広い農道を進む



菜の花咲く農道をのんびりと 15時54分



ヒメオドリコソウ



菜の花越しに三笠台 16時00分



千貫岩駐車場に到着したが・・・ 16時03分

	
もうちょっと歩こうと三笠台へ 16時03分	直登ルートではなく三笠台の裏手を攻める
	三笠台の麓を反時計回りで進む 16時03分 一度分岐に出会うが左へ回り、千貫岩駐車場の反対側まで回り込む。  左へ回る
	ここから山頂へ 16時10分 千貫岩駐車場のほぼ反対側に回ってきた。 薄い踏み跡を辿り岩のある山頂へ！  山頂碑が見える
	15、三笠台 16時13分 433m  肌寒い



ラクダ山方面に下る 16時23分



駐車場が見えてきた 16時26分



直登ルートで下ってきた 16時27分



16、千貫岩駐車場にゴール 16時28分

所要時間は4時間52分。スマホの歩数計は13200歩だった。

今日は午前中に剣立山。午後に平尾台。

午前中の剣立山は6912歩。

合計では20112歩。

ちょっと歩きすぎたかな？

とにかく

ニューピークの城山と剣立山

不動洞と千仏ロックのリベンジが出来て大満足の日だった。

お疲れ様でした。

本日出会った花々



シラン



オキナグサ



ホタルカズラ



オキナグサ(種が密集して風にそよぐ姿が老人の白髪に似ているから翁草)



サギゴケ



タカサゴソウ